

製品概要

本器はグラフィックアイQSシリーズ、クアンタムシリーズと接続して使用します。D-Sub9ピン・メスコネクタとRJ45ジャックを装備しており、RS232ケーブル(別途)またはLANケーブル(CAT5/別途)を使用して外部パソコンやAVシステムと直接接続できます。壁面取り付けもしくは19インチAVラック(1U)への取り付けが可能です。

機能

- RS-232C信号により、外部パソコンやデジタルAV機器、タッチパネルシステムなどと接続し、グラフィックアイQSの操作を行うことが出来ます。
- コントロールコマンド
 - シーンの選択
 - ゾーンロック
 - シーケンス
 - ゾーンの調光レベルの調整
 - シーンロック
 - ゾーン調光レベル指定(1%単位)
- モニタリングコマンド
 - 選択されたシーンの表示
 - どのボタンが押されたかフィードバック

注意事項

- 正しく動作させるためには、QSE-CI-NWK-Eを取り付けているシステムに、次の各ソフトウェアバージョンがインストールされている必要があります。
 - シェードコードrev.1A以降
 - QSGコードrev.1.7以降
 - キーパッドコードrev.1.7以降

定格・仕様

種類	RS232Cインターフェース
定格電源	グラフィックアイQSとの接続の場合 DC24V(コントロールユニットより給電 子機2台分)※1 別途外部電源を接続する場合 DC12~30V(200mA)
使用周囲温度範囲	0℃~40℃(一般室内取付専用)
使用周囲湿度範囲	相対湿度 90%以下(無結露)
入出力端子	RS-232C端子(メス)またはRJ45
最大システム電線長	全体で150m以下 弊社ケーブルGRX-CBL-346S使用時 全体で600m以下 弊社ケーブルGRX-CBL-46L使用時
ケース材質	黒色プラスチック

※1 子機2台分とは電源の消費量を示します。グラフィックアイQS本体1台につき子機3台分まで接続出来ます。それを超える場合は、QSPS-P4-1-50を追加してください。

 ルートルン アスカ株式会社		QSE-CI-NWK-E		REVISION	1.2
				RELEASED	2016.03.28
承認	谷崎	検図	石黒	作成	浅野
				GRAFIK Eye QS グラフィックアイQS シリーズ イーサネット/RS-232 コントロールインターフェース 仕様書	
				PAGE	1/2

DIPスイッチの設定について

DIPスイッチの設定（下表）により、本器の機能を設定します。

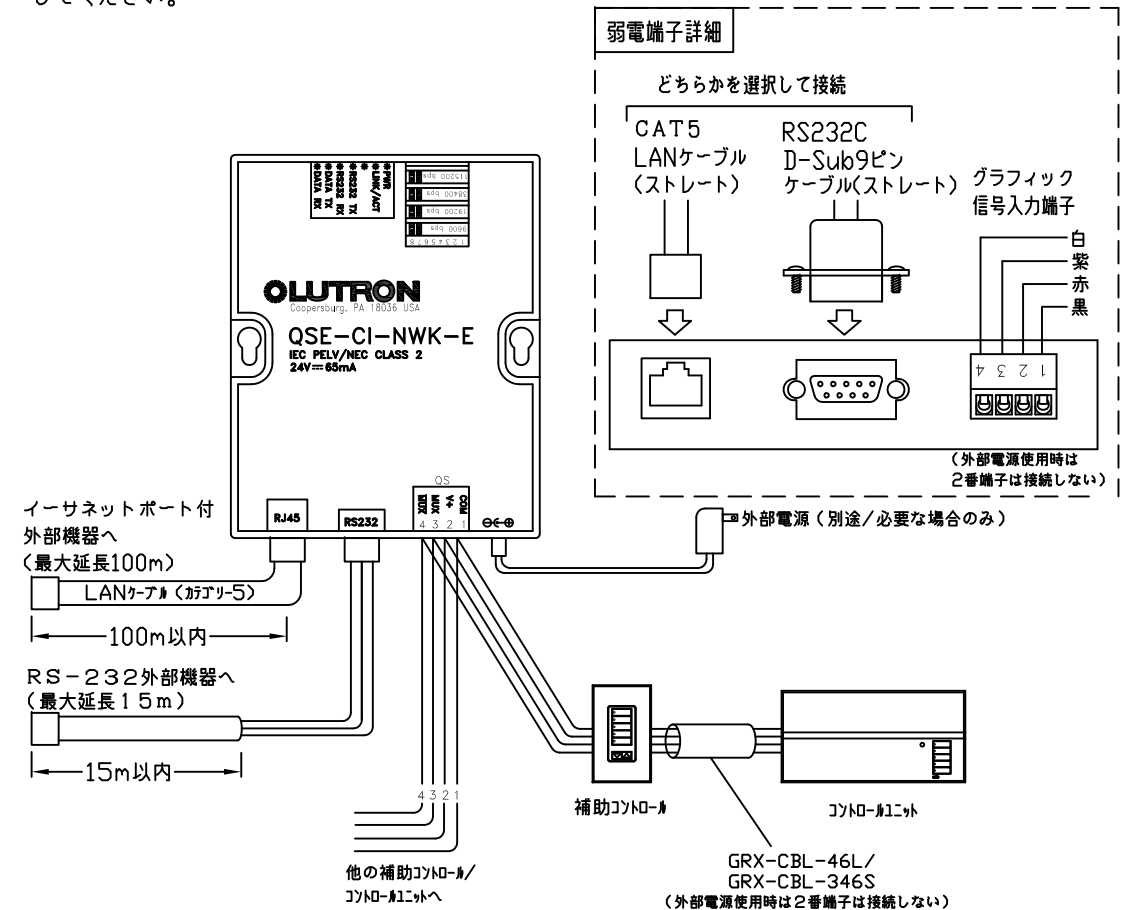
1 2 3 4 5 6 7 8



スイッチ	機能	オン	オフ
1	使用しません	使用しません	使用しません
2	使用しません	使用しません	使用しません
3	使用しません	使用しません	使用しません
4	使用しません	使用しません	使用しません
5	使用しません	使用しません	使用しません
6	使用しません	使用しません	使用しません
7	ボーレートの設定	9600 7=オン 8=オフ	8データビット
8		19200 7=オフ 8=オン	1ストップビット
		38400 7=オン 8=オン	パリティなし
		115200 7=オフ 8=オフ	フロー制御なし

グラフィックアイQSとの配線について

- 本器はグラフィックアイQSのコントロールリンクに設置します。下図を参照して下さい。
- ルートケーブル/GRX-CBL-346S（4芯）またはGRX-CBL-46L（5芯）をご使用下さい。
各端子には、1：黒 2：赤 3：紫 4：白 の順で使って下さい。GRX-CBL-46Lのオレンジ色の線は使用しません。
- 外部電源を使用する場合は、グラフィック接続端子2番は接続しないで下さい。故障の原因となる場合があります。
- 本器にはイーサネットケーブル（CAT5）またはRS232ケーブルは付属しません。別途同等ケーブルをご用意下さい（弊社外品）。なお、イーサネットケーブルの最大延長は100m以内、RS232ケーブルの最大延長は15m以内として下さい。
- イーサネットケーブルとRS232ケーブルは同時に接続できません。どちらか一方を選択し、接続して下さい。



LUTRON
ルートロン アスカ株式会社

QSE-CI-NWK-E

REVISION	1.2
RELEASED	2016.03.28
PAGE	2/2

承認 谷崎
検図 石黒
作成 浅野

GRAFIK Eye QS グラフィックアイQS シリーズ
イーサネット/RS-232 コントロールインターフェース 仕様書